



SSH
Super Science High school

Tokyo Metropolitan Kokubunji High School

BUNJI-SSH NEWS

No.4
令和7年
9月2日発行

★今回は、夏休みの活動報告特別号！体験・経験したことを2学期以降の学習や探究に生かしていきましょう！★

【生物部】 高校生 MIRAI 万博で発表してきました

7月31日（木）に「三菱みらい育成財団 高校生 MIRAI 万博」において、生物部『カラスバト音声班』が発表してきました。第1部は探究の成果で全国から選ばれた高校生20チームの発表。本校は優秀賞チームとして万博会場ウーマンズパビリオン「WA」スペースで第2ブロック3番目の発表でした。この研究は小笠原諸島・伊豆大島や八丈島などに生息する絶滅危惧種カラスバトやアカガシラカラスバトを観察し、鳴き声を分類し、意味解明を試みています。3人とも落ち着いてしっかり発表していました。当日の発表は「高校生 MIRAI 万博」の公式サイトで視聴できます。

このイベントは、発表者は同じホテルにて前日から泊まり込み（前日はリハーサル）で行われています。発表当日の夜はレセプションが企画され、全国のチームの仲間たちとたくさん話せたことも、国分寺高校生参加者にとって大きな収穫になりました。



真剣に発表するカラスバト音声班



発表した生徒たち

「三菱みらい育成財団 高校生 MIRAI 万博」とは

三菱みらい育成財団 高校生 MIRAI 万博とは、日本全国の高校生が、その探究の成果を万博の舞台で世界に向けて発信する、三菱みらい育成財団が主催するイベントです。高校生にとって飛躍的な成長の機会と、国内外に対して探究という学び方を広げていくための機会となることを目指します。

（高校生 MIRAI 万博 Web サイト

<https://www.mmfe.or.jp/special/banpaku2025/> より）

SSH生徒研究発表会でポスター発表をしました

8月6日（水）に神戸国際展示場で行われた、令和7年度SSH生徒研究発表会で発表しました。

発表テーマ「ワニと鳥の比較解剖から探る下顎層の役割」

多くの方から今後の参考となる助言をいただき、今後にいかしていきます。また、全国のSSHで取り組まれた研究を見て、大いに刺激を受けてきました。今後の自分たちの研究に活かしていきます。

【参加した生徒の感想】

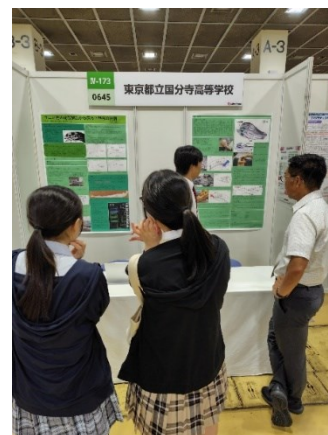
- ・ 今回最も印象に残ったことは、どの高校も統計やプログラムなど、情報分野を駆使して研究を行っていた事です。特に今回全体発表に選ばれた12校は、どれもサンプル数に注意して、検定を頻繁に使っており、説得力のある結果が目立ちました。また、中には自作のプログラムや装置を研究に生かした学校も多かったため、驚きを隠せませんでした。今回の経験は、高校生活にとどまらず、将来にもきっと役に立つと考えているため、

「SSH生徒研究発表会」とは

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会は日本全国のSSH指定校等の代表生徒が集結し、日頃の課題研究の成果を発表するイベントです。令和7年度は238校が参加しました。

これが思い出ばかりにならないようにしたいです。

- ・ほとんどの学校が、自身の好きなことや日常を通して疑問に思ったことに対しての探究を行っているため、探究（プレゼン）に愛がありました。愛があると、探究が苦ではないためとことん時間を割くことができ、調べを進めることができるから、愛をもてる研究テーマを設定することが探究の先を考えても大切だと思います。自分の好きなことについてならいくらかでも探究できるということです。何十校ものプレゼンを聞いて、発表者が原稿を持たないことは当たり前であることを再度認識しました。逆に、持っている学校はそれだけで聞く気が減ります。また、発表者が自信を持って話している学校は聞く側も素直に聞くことができました。自分が探究していることに、ぜひ、全員が自信を持てるようになって欲しいと感じました。理数探究のテーマがまだイマイチ決まっていなかったため、良い機会でした。「そっか、これもありか！！」という発見が多かったです。ぜひ繋げていきたい。聞く側も、プレゼンしてくれた学校たちの情報量の多さに圧倒されて疲れるくらい濃密な会でした。そんな経験をできたことに感謝です。



ポスター発表の様子



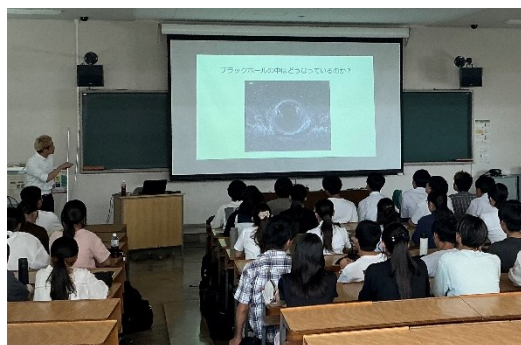
参加した生徒たち

学芸大附属国際中等教育学校主催「SS 特別講座『世界を面白がるための物理学』」に参加しました

8月22日（金）、本校と同じSSH文理融合基礎枠認定校である東京学芸大学附属国際中等教育学校からお声がけいただき、SS特別講座「世界を面白がるための物理学」（講師：東京学芸大学 小林晋平先生）に参加しました。「ブラックホールの中はどうなっているのか？」「宇宙はどうやって始まったのか？」などといった宇宙物理学でも人気のトピックを軸にしなが、学校で学んでいる数学や物理をはじめとする様々な教科・科目が最先端の科学にどう直結しているのかなどを、実験を交えながらご講義いただきました。「世界を面白がる」ための方法である物理の世界を味わいながら、「私たちはなぜ学ぶのか？」という問いについても考えました。

【参加した生徒の振り返り】

- ・先生がおっしゃっていた学問を究めないと分からないということが、今回の講義でよくわかり、学問を究めるということに対してより積極的になれたと思います。
- ・物理はいろいろな現象についての公式を覚えて解くことだけの学問だと思っていたが、今回の講義を通して、根本にあることに目を向けてなぜそのようなことになるのかなどと言ったことを疑って掘り下げていくとより面白いということがわかり、より掘り下げてみたくなりました。



真剣に講義を受ける様子



参加者全員で記念撮影

※ 講師の小林晋平先生は、現在NHK Eテレで毎週水曜日夜9:30から放送されています「3か月でマスターするアインシュタイン」に講師として出演中です。見逃し配信や再放送もございますので、ぜひご覧ください。